

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当	毎年3月31日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネット	https://www.smtb.jp/personal/agency/
ホームページURL	index.html

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

公告方法	電子公告により行います。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。 当社の公告掲載URLは次のとおりです。 http://www.kk-mitsuboshi.co.jp
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)
証券コード	5820



2019 Business Report

第75期 中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日



ホームページアドレス <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>



ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザインの
文字を採用しています。

証券コード 5820



企業理念

三ツ星は「誠意・熱意・創意」を基本姿勢とし、
品質・価格・物流の最適化を図り、
お客様により高い価値を提供してまいります。

電線事業

素材を究めた信頼性で 業界トップシェアを獲得

多彩な製品ラインナップ。あらゆる現場のニーズに対応します。
キャブタイヤケーブルをはじめとする各種電線は、天然ゴム・合成ゴム・プラスチックなどを主原料としています。三ツ星では、これら素材の特性を最大限に引き出し、つねに高品質な製品を生産し続け、多くのお客様より高い信頼を獲得してきました。これからも製品ラインナップを豊富に取り揃えることで、あらゆる現場でのニーズに対応。過酷な用途に耐え、作業の効率化や安全性、省コスト化に貢献できる製品づくりを目指します。



ポリマテック事業

お客様との共同開発で高付加価値製品を創造

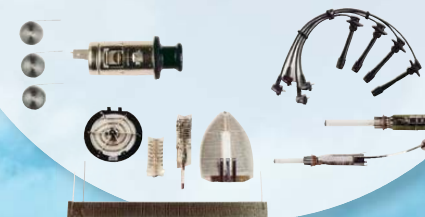
ポリマテック事業部門ではお客様からの商品企画について、その構想段階から製品設計、試作等の共同開発を行い、製品を納入するという受注生産を基本としてお客様とともに歩む姿勢を貫いています。
主製品としては建築用ガスケット類・手摺り・配線カバー・幅木などで、施工性の良さと品質面等で高い評価を得ています。
また、環境対応というテーマからプラスチック廃材の再生利用にも力を入れ取り組んでおり、社会的貢献の面からもその役割は重要なもので、さらなる取り組みを推進しています。



電熱線事業

電熱線分野で開発した高度の品質と技術を保有 高品質の製品とサービスを提供いたします

電熱線・抵抗線で線径0.04mmまでの極細線を量産製造し、品質面および技術面でお客から高い評価をいただいております。さらに、お客様のニーズに応えるため、0.02mmまでの極細線の製造も可能にしました。また、伸線および圧延のコア技術を多角的に展開し、モリブデン帯の製造やハステロイ、インコネル、インコロイといった高機能材料の伸線・圧延等にも積極的に取り組んでいます。



株主の皆様へ

To Our Stockholders

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第75期第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 競 良一



■ 事業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産において弱い状況が続いており、製造業を中心に慎重さが増しています。

一方、世界経済は、米中通商問題を巡る緊張の増大が世界経済に与える影響に注意するとともに、中国の景気減速、海外経済の動向と政策に関する不確実性や金融資本市場の変動の影響により先行きが不透明な状況となっております。

当社グループに関連する経営環境につきましては、設備投資は、機械投資に弱さがみられます。また、住宅建設においても弱含んで推移しております。

このような状況のなか、当社グループの売上高は、主原材料である銅価格が前年同期より下落したことなどで、前年同期より減少しました。

営業利益につきましては、国内子会社の工場移転に係る費用の発生や海外子会社の新工場に係る費用増加の影響により前年同期より減少しました。

経常利益につきましては、前年同期に発生していた為替差損が当第2四半期連結累計期間は為替差益へと転じましたが、営業利益減少の影響により前年同期より減少しました。

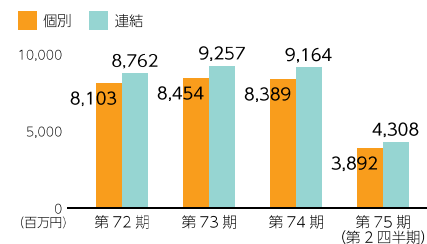
親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益の計上や法人税等合計額が減少しましたが、経常利益減少の影響により前年同期より減少しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,308百万円(前年同期比4.2%減)、営業利益は120百万円(前年同期比28.2%減)、経常利益は118百万円(前年同期比28.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は85百万円(前年同期比15.8%減)となりました。

財務ハイライト

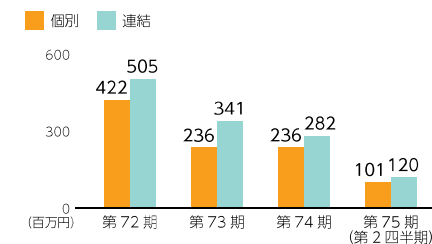
Financial Highlights

売上高



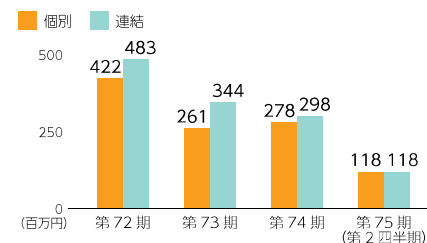
ポリマテック事業および電熱線事業では増収となりましたが、電線事業において減収となったため、グループ全体では前年同期に比べ減収となりました。

営業利益



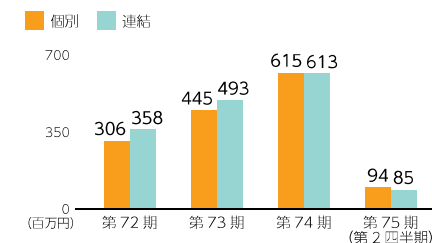
ポリマテック事業では増益となりましたが、電線事業および電熱線事業において減益となったため、グループ全体では前年同期に比べ減益となりました。

経常利益



前年同期に発生していた為替差損が当第2四半期連結累計期間は為替差益へと転じましたが、国内子会社の工場移転に係る費用の発生や海外子会社の新工場に係る費用増加の影響により前年同期に比べ減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



経常利益の減益に伴い、前年同期に比べ減益となりました。

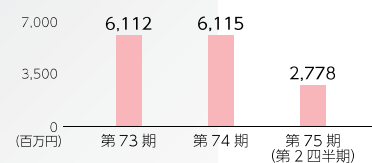
事業別の概況

Segment Information

電線事業



売上高の推移



商品紹介

業界トップシェアを誇る 【キャプタイヤケーブル】

600V以下の移動用電気機器、配線等に使用されるキャプタイヤケーブルを主製品とし、その他多目的産業用キャプタイヤケーブル、溶接用ケーブルなど、産業用電線なら三ツ星という定評をいただいております。

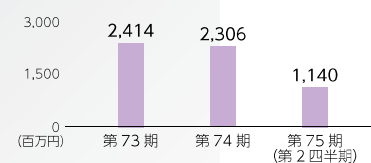
当第2四半期連結累計期間の活動報告

当事業の主要な市場である建設・配管向けは、東京オリンピック・パラリンピック、首都圏開発などの需要が顕著であるものの、仮設工事から本設工事へ移行していることもあり、ゴム電線需要は減少しています。また、米中通商問題、日韓問題等の影響で、半導体、ロボット、FA関連の動きが非常に鈍くなっていることもあり、出荷量が前年同期よりも減少した結果、売上高は2,778百万円となりました。利益面につきましては、適正価格での販売を実施した結果、売上総利益率は前年同期より改善しましたが、6月中旬以降、卸価格の大幅な下落や競合他社の安値攻めもあり、一部販売価格が下がったことと海外子会社の新工場に係る費用が増加したことにより、営業利益は64百万円となりました。

ポリマテック事業



売上高の推移



商品紹介

オフィスから暮らしまで、幅広いニーズと市場住宅建材からOA機器分野、産業資材分野まで、省コスト仕上げの高品質により高い評価を得ています。木材複合樹脂やプラスチック廃材を再生利用した製品は、これからの環境対応というテーマからも注目されています。

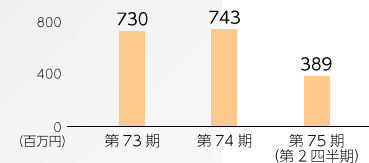
当第2四半期連結累計期間の活動報告

当事業に関連のある住宅建設はこのところ弱含んでおりますが、新設住宅(マンション除く)新工件数が前年同期比5.0%増加した影響と、既存顧客での掘削案件の獲得が寄与した結果、全体の売上高は1,140百万円となりました。利益面につきましては、生産性の改善や材料ロスの低減、低採算先と不採算先の販売価格の改定に取り組み、営業利益は33百万円となりました。

電熱線事業



売上高の推移



商品紹介

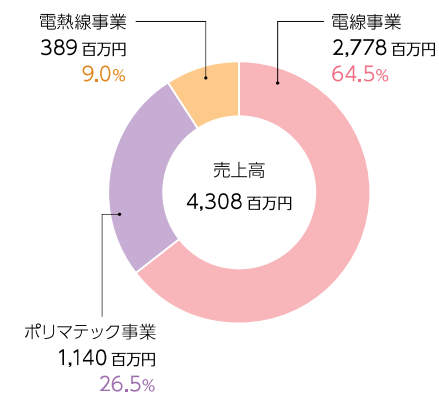
伸線・圧延技術力を活用した事業展開

どこの家庭にもあるヘアドライヤーやアイロン、冷蔵庫、テレビといった家電製品向け製品のほか、自動車のシガレットライターや高圧ケーブル、電子機器向けの製品を開発するなど、幅広い分野での活用が期待されます。

当第2四半期連結累計期間の活動報告

当事業では、前年に引き続きスマートフォンの需要鈍化によるスマートフォン製造装置向けヒーター用途が減少していることや、中国の景気減速の影響により産業ロボット向け抵抗器用途も減少傾向が継続していることに加え、米中通商問題の影響により産業機器向け販売が不調となったことや、韓国経済の不調により韓国向け輸出が減少しました。しかし、住宅設備機器関連での受注が増加したことや白物家電機器向けヒーター用途および中国市場での食品炉向けヒーター用途等での新規開拓により減少分をカバーした結果、売上高は389百万円となりました。利益面につきましては、比較的付加価値の高い製品の産業機器向け販売不調により減少したことや工場移転での費用増加などにより、営業利益は22百万円となりました。

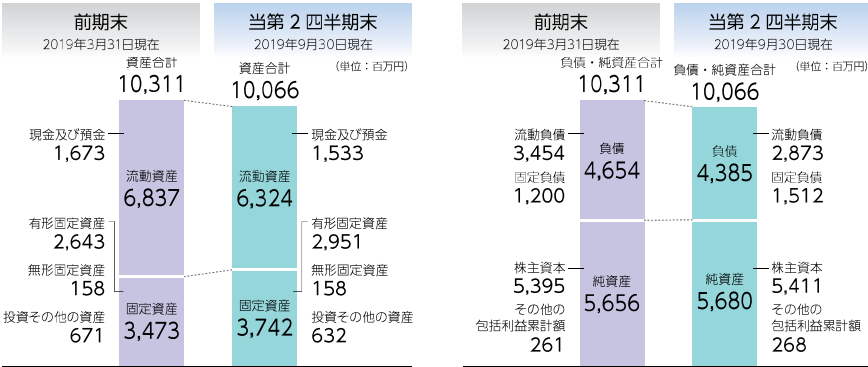
■売上高構成比



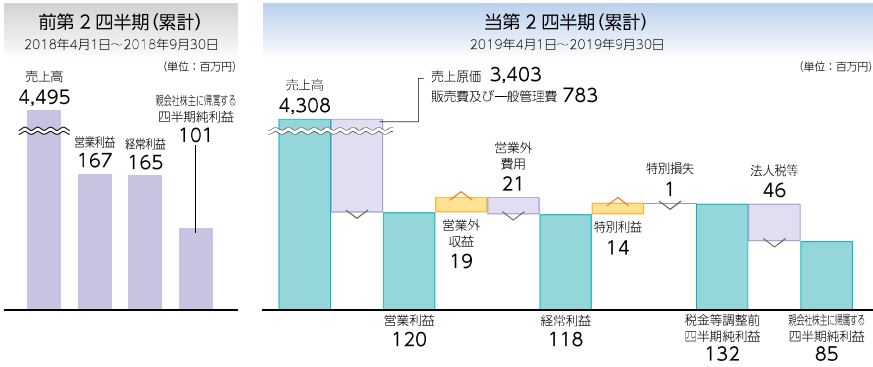
連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

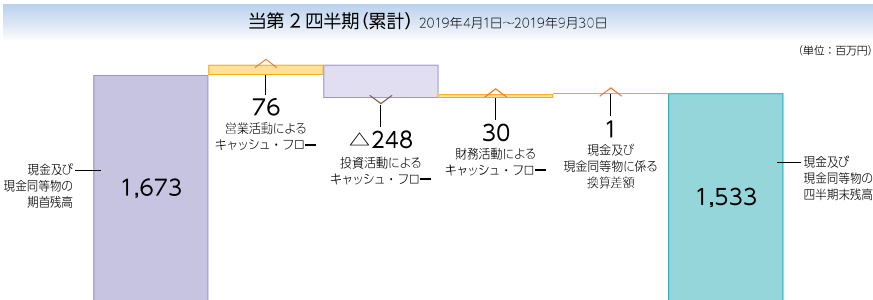
■ 連結貸借対照表



■ 連結損益計算書



■ 連結キャッシュ・フロー計算書



ポイント解説

- 総資産額
前期末に比べ2億45百万円減少し、100億66百万円となりました。
これは主に、受取手形及び売掛金の減少があったことによるものです。
- 負債総額
前期末に比べ2億69百万円減少し、43億85百万円となりました。
これは主に、支払手形及び買掛金の減少があったことによるものです。
- 純資産総額
前期末に比べ24百万円増加し、56億80百万円となりました。
これは主に、利益剰余金の増加があったことによるものです。

株式の状況／会社概要

Stock Information / Corporate Profile

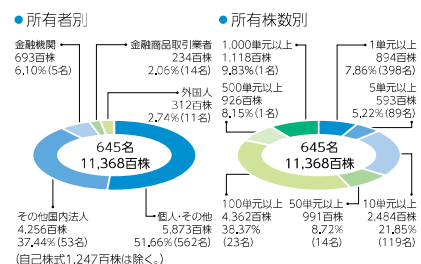
株式の状況 (2019年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 3,800,000株
- 発行済株式の総数 1,141,876株
(自己株式124,779株を除く。)
- 株主数 739名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社ツカモト	111,800	9.79
スリースター有限会社	92,630	8.11
津田電線株式会社	38,600	3.38
加藤清行	33,900	2.97
舟橋盛彦	31,200	2.73
三井住友信託銀行株式会社	29,400	2.57
西崎ひとみ	23,045	2.02
株式会社タカミヤ	20,400	1.79
株式会社三菱UFJ銀行	20,150	1.76
三京化成株式会社	20,000	1.75

(注) 1.上記のほか、当社が自己株式124,779株を保有しております。
2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況 (単元株以上)



主要な事業内容

当社グループは、次の製品の製造・販売および仕入商品の販売を行っております。

事業部門	主 要 品 目
電線事業	天然ゴムキャブタイヤケーブル、合成ゴムキャブタイヤケーブル、架橋ポリエチレンケーブル、溶接用ケーブル、制御用ケーブル、プラスチックキャブタイヤケーブル、プラスチックコード、その他
ポリマテック事業	プラスチック押出成形品、射出成形品、真空成形品、高機能チューブ、LED関連商品、その他
電熱線事業	電熱線・帯、その他

役員 (2019年9月30日現在)

代表取締役社長 競 良 一

取締役 金城 安 弘

取締役 松 山 元

取締役 下 川 浩 司 (社外)

取締役 大 林 良 寛 (社外)

取締役 小 林 明 彦 (社外)

(注) 1.取締役(監査等委員)下川浩司氏、大林良寛氏および小林明彦氏は社外取締役であります。
2.取締役(監査等委員)大林良寛氏および小林明彦氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

従業員の状況 (2019年9月30日現在)

(連結) 245名(82名)

(個別) 165名(70名)

従業員数は就業員数であり、パートおよび嘱託社員は()内に6ヶ月間の平均人員を外数で記載しております。

ネットワーク

Network



主要な事業所

当社

本 社 〒541-0053
大阪市中央区本町一丁目4番8号
エスリードビル本町5階
TEL 06(6261)8881(代表)

大阪支店 (電線事業部)

大阪営業所 (ポリマテック事業部)

〒541-0053
大阪市中央区本町一丁目4番8号
エスリードビル本町5階
TEL 06(6261)8884(代表)

(電線事業部) (ポリマテック事業部)

東京支店 (電線事業部)

東京営業所 (ポリマテック事業部)

〒103-0014
東京都中央区日本橋新堀町一丁目2番1号
リーラック第一ビル
6階(電線事業部)
5階(ポリマテック事業部)
TEL 03(6897)8660(代表)

(電線事業部) (ポリマテック事業部)

九州営業所

〒815-0081
福岡市南区那の川一丁目9番19号
TEL 092(526)2615(代表)

名古屋営業所

〒465-0095
名古屋市名東区高社一丁目253番地
一社プラザ4階402号室
TEL 052(760)4636(代表)

滋賀工場

〒520-3306
滋賀県甲賀市甲南町柑子1061番地3
TEL 0748(86)6104(代表)

羽曳野工場

〒583-0867
大阪府羽曳野市河原城534番地
TEL 072(939)4561(代表)

シルバー鋼機株式会社

本 社

〒103-0014
東京都中央区日本橋新堀町一丁目2番1号
リーラック第一ビル7階
TEL 03(5651)7220(代表)

(2019年8月26日に移転いたしました。)

MITSUBOSHI PHILIPPINES CORPORATION

(フィリピン共和国)

LOT11 BLOCK12 FIRST CAVITE INDUSTRIAL ESTATE
BRGY.LANGKAAN,DASMARINAS,
CAVITE,PHILIPPINES4114